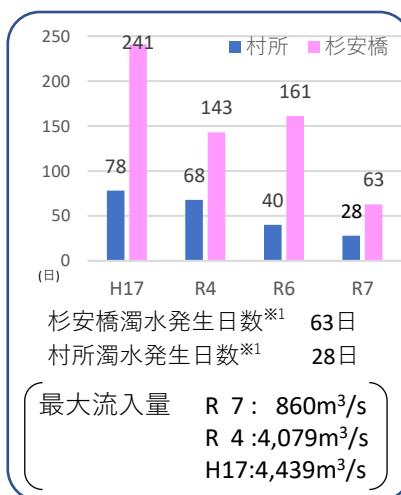
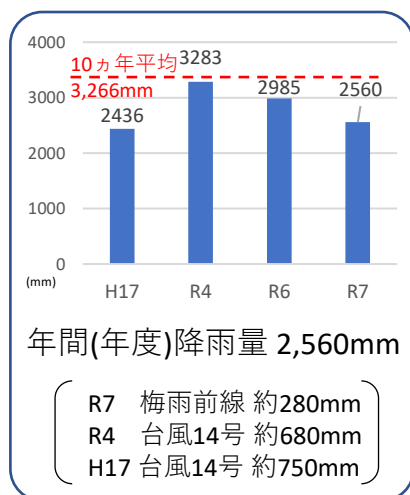


2 中下流域

(1) 濁水対策の実施状況等

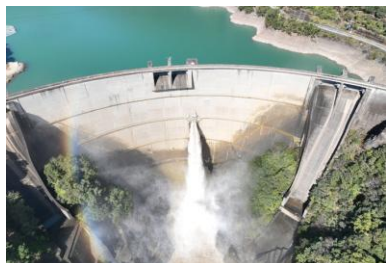


※1 年度 (4/1～3/31) の集計



選択取水設備切替 6回

上部取水日数 93日
 下部取水日数 272日



非常用放流管からの放流 0日※2

—

※2 点検放流除く



濁水長期化日数※3 35日

梅雨前線 27日 (期間: 5/22～6/28)
 (最大濁質量: 約3,100t)

※3 杉安橋(西都市) - 村所(西米良村)

(2) 中下流域モニタリング結果



【水質】

一ツ瀬川本川において、SSの値が年間を通して環境基準を満足していた。



R7.5月 一ツ瀬橋下流ワンド



R7.10月 一ツ瀬橋下流ワンド

【底質】

化学成分(COD、有機炭素等)はほとんどの地点で汚れた底質の指標値を下回る低い値であった。一部の地点では現在も粒径の変化がみられるため、今後も注視する。



写真はイメージ

【ヤマトシジミ】

生息密度が低い状態ではあるが個体群が維持されていることを確認した。今後も回復過程に注視する。



ダム上流の産卵場
(一ツ瀬川)



ダム下流の産卵場
(一ツ瀬川)

【アユ】

ダム上流：R7年9月に陸封アユの産卵確認。
R7、R8年3月に環境DNAにより遡上も確認。
ダム下流：R7年11月に産卵確認。
流下仔魚数はH28年度以降で最も多かった。



オイカワ

写真はイメージ

【魚類】

R7年度の種数・個体数はR4年台風前の下限値以上であり、R4年度以降に未確認であった一部の重要種も再確認。今後も回復過程に注視する。



カワゲラ

写真はイメージ

【底生動物】

R7年度の種数・個体数は多くの地点でR4年台風前の変動の範囲内であった。R4年度以降に未確認であった一部の重要種も再確認。今後も回復過程に注視する。



タコノアシ
(絶滅危惧種)

【水生植物】

R7年度の種数はいずれの地点もこれまでの変動の範囲内であった。今後も確認頻度が低い重要種を中心に回復過程に注視する。

(3) 対策に対する評価

①濁水対策運用

令和7年度の主な出水は、6月上旬の梅雨前線、9月上旬の台風15号、9月下旬の湿った空気によるものがあつた。いずれの出水においても、目標としている概ね2週間以内の清水層(7m)形成を確認している。

また、10月末の濁質量は約700t、換算濁度は3ppmであり、冬期対流による濁水長期化(越年)は無かつた。

[村所地点清水化からの一ツ瀬ダム清水層(7m)形成状況]

- 6月上旬の梅雨前線による影響で5日間で約280mm(西米良)の降雨があり、貯水池内へ最大約3,100tの濁質が流入した。その後の濁水排除運転により、9日間で7m以上の清水層を形成した。
- 9月上旬の台風15号による影響で2日間で約200mm(西米良)の降雨があり、貯水池内へ最大約1,800tの濁質が流入した。

また、9月下旬の湿った空気による影響で3日間で約160mm(西米良)の降雨があり、貯水池内へ最大約1,000tの濁質が流入した。いずれも清水層(7m)は維持されていた。

②中下流域モニタリング

R4年度の台風14号に伴う大規模出水により河川が攪乱されたことから、R7年度も引き続き回復過程を注視し、モニタリング調査を実施した。

多くの項目において、R3年度以前（R4年度の台風14号による攪乱及び放流管活用濁水軽減対策実施前）の状況に概ね回復している。

今後もモニタリング調査を継続し、河川環境の回復過程を注視していく。

[中下流域のモニタリング状況]

- 底質の粒度分布は、杉安ダム内で粗粒化や細粒化が認められたものの、ほとんどの地点で底質中の化学成分は、汚れた底質の指標を下回っていた。
- ヤマトシジミは、生息密度が低い状態ではあるが個体群が維持されていることを確認した。
- ダム下流のアユは、R7年度も産卵の継続を確認した。流下仔魚数はH28年度以降で最も多かった。また、ダム上流の陸封アユは、R4年度の台風14号に伴う大規模出水後、遡上と産卵が確認されなかったが、R7年3月のアユ放流前に遡上（環境DNA）が確認され、9月には産卵も確認された。また、R8年3月のアユ放流前にも遡上（環境DNA）が確認された。
- 魚類は、R7年度の種数・個体数がいずれの地点もR4年度の台風14号前の下限值以上であり、R4年度以降に確認されていなかった一部の重要種も再確認された。
- 底生動物は、R7年度の種数・個体数が多くの地点でR4年度の台風14号前における変動の範囲内であり、R4年度以降に確認されていなかった一部の重要種も再確認された。
- 水生植物は、R7年度の種数はいずれの地点もこれまでの変動の範囲内であった。